

【防災メモ】

～冬の地震に備えて～

冬に大きな地震が発生した場合には、強い揺れや津波の被害に加え、雪や寒さが原因となる二次災害が起こることもあります。冬の地震に備えて、以下の点に注意しましょう。

1. 雪に対する備え

屋根に雪が多く積もっていると、地震の揺れによる家屋の倒壊や、屋根からの落雪の可能性がより大きくなります。屋根からの落雪は人を巻き込む危険性があるほか、避難路をふさぐ原因にもなりますので、十分に注意しましょう。

冬の避難では、路面の積雪や凍結、吹雪などにより、避難に時間がかかります。避難所や避難場所までの経路を事前に確認しておきましょう。



2. 火災に対する備え

暖房器具を使用する冬場の地震では、火災のリスクが高まります。転倒時に自動停止する機能があっても、停電からの復電とともに再起動したり、配線の損傷から漏電したりして出火する通電火災に注意が必要です。暖房器具のそばには可燃物を置かないようにし、避難の際はブレーカーを切るようにしましょう。



3. 寒さへの備え

地震によって電気やガスが止まり、暖房器具が使えなくなることが考えられますので、停電時でも使用できるようなポータブルの暖房器具を用意しておきましょう。また、防寒着や防寒靴、毛布、カイロなどを避難時にすぐ持ち出せるようにしておくことで安心です。

